

入札監理小委員会における審議結果報告

医薬品医療機器総合機構／共用LANシステム等に係る

運用管理支援業務

医薬品医療機器総合機構／共用LANシステム等に係る運用管理支援業務については、公共サービス改革基本方針（別表）において、平成26年4月から平成29年3月までの3年を契約期間として、民間競争入札を実施することとされている。

当該民間競争入札実施要項（案）を入札監理小委員会において審議したので、その結果（主な論点と対応）を下記のとおり報告する。

1. 入札に参加する者の募集に関する事項について

【論点】ヘルプデスク業務において、別添1の「従来の実施状況に関する情報の開示」の情報だけでは業者が十分見積もれる情報開示になっていないのではないか。

【対応】ヘルプデスク業務の具体的な作業内容について、機構内の回覧も可能にする旨を追記した。（資料 2-2 p. 8）

2. 総合評価について

【論点】要員の能力、経歴についてもう少し具体的に記述したほうがよいのではないか。

【対応】要員の能力・経歴について、プロジェクト責任者、管理者、常駐作業員別に加点部分を具体化した。（資料 2-2 pp. 65-66）

3. 意見招請（パブリックコメント含む）の結果報告

意見募集（パブリックコメント含む）を行い、現行業者および他者1者から3件の意見等が提出され、うち2件について修正を行なった。いずれも調達仕様書に関する軽微な修正であったため、書面による報告とした。

【修正内容】

(1) 特定アプリケーション（VMware）のバージョンの明記
（資料 2-2 p. 41）

(2) ログ解析対応の明確化

（資料 2-2 p. 56）